

平成 22 年度 現代社会学部(地域学部も含む)の活動内容について

現代社会学部・地域学部の学内事業関係

[1]「上級情報処理実務士」、「上級ビジネス実務士」、「社会調査実務士」、「国際ボランティア実務士」、「ウェブデザイン実務士」に加えて、平成 17 年度から「NPO実務士」の資格認定課程を設置した。日本の大学で体系的なカリキュラムを持っているのは本学部のみ。(全国大学実務教育協会)平成 19 年度から「観光ビジネス実務士」の資格の課程を設置した。平成 20 年度からは、現代社会学部のカリキュラムで「上級環境マネジメント実務士」の資格の課程設置が認可された。同年度から現代社会学部でも「上級ビジネス実務士」、「観光ビジネス実務士」の資格、平成 21 年度からは「NPO実務士」、「国際ボランティア実務士」の資格の課程が認可された。

[2] 企業などの提供講座で一般社会に公開する授業科目

① 国際協力論 (一部 JICA 提供)、平成 20 年度から現代社会学部の② 国際交流実習として実施。地域・現代社会学部共通で③ NPO・NGO 論 (担当:コーディネーター谷口新一:NGO・NPO ネットワーク富山の協力を得ている)。(④ 経営特別講義 (野村證券提供)、⑤ 環境特別講義 (北陸電力、日本海ガスなど提供)、平成 21 年度から現代社会学部の⑥ 環境デザイン特論 (北陸電力、日本海ガスなど提供)として継続実施。平成 16 年度より新たに⑦ 観光政策論 (富山県提供)を、平成 19 年度から⑧ 地域学概説—総合学としての日本海学— (一部を富山県提供)として開設した。平成 20 年度も継続。それを引きついで、平成 21 年度からは、⑨ 地域環境論—総合学としての日本海学— (一部を富山県提供)として継続実施。

[3] 後期に実施した観光政策論 (富山県提供講座)

地域学部では、平成 16 年度後期から下記のような科目を新設し、観光ビジネス、地域の活性化等に対するカリキュラムを強化し地域学部の理念・目標達成に資すること及び平成 20 年度改組して開設した現代社会学部の観光専攻への期待も抱かせる講座となった。観光政策論 (富山県提供講座) 地域・現代社会学部共通で、平成 22 年度は全国区の著名人を講師に依頼した。

講師名と講義テーマ

- 10 月 25 日 東北の「認知度」アップが課題—外国人観光客誘致に向けた取り組み—、
(株) JTB 東北 地域ソリューション事業部 地域交流推進 畠山 廣 氏
- 11 月 01 日 世界の「KYOTO」目指す観光戦略—京都の伝統・文化に興味を持つ客層に照準—、
京都市産業観光局 観光部 観光課 柿沼 宏明 氏
- 11 月 22 日 韓国旅行者から見た日本観光の魅力、大邱大学校観光大学教授 李 應珍 氏
- 11 月 29 日 『国際観光都市』—飛騨高山の観光戦略—、
高山市商工観光部 観光戦略担当 参事 片岡 吉則 氏
- 12 月 06 日 「中国人インバウンドの現状と今後について」、
(株) JTB 中部 国際旅行営業部 部長 安田 幹司 氏
- 12 月 13 日 旅まちネットの観光情報発信の現状と今後の課題、
加賀市観光協会 事務局長 岡田 基義 氏
- 12 月 20 日 外国人旅行者に対する旅館のおもてなし 澤の屋旅館 館主 澤 功 氏
- 12 月 24 日 フィルム・ツーリズムと外国人誘客、山梨県立大学国際政策部 教授 前澤 哲爾 氏

- 1 月 17 日 中国における日本人旅行者の誘致の考え方と取り組みについて、
中国国家 観光局 首席代表 範 氏
- 1 月 24 日 日本の観光インバウンド施策と地域の課題、社団法人日本観光協会 丁野 朗 氏
- 2 月 03 日 JNTO の外国人旅行者誘致活動状況、日本政府観光局 (JNTO) 間野 氏

[4] 「地域環境論—総合学としての日本海学— (富山県提供部分)

- 6 月 07 日 「富山で生まれた日本海学」 富山県国際・日本海政策課 越後喜紀 氏
- 6 月 14 日 「リサイクルの経済学」 富山大学極東地域研究センター 山本 雅資 准教授
- 6 月 21 日 「水中カメラからみつめる富山湾」
太田潜水事務所/北陸水中映像 水中カメラマン 大田 希生 氏
- 6 月 28 日 「日本海の環境保全に向けた国際的な取り組み」
(財) 環日本海環境協力センター (NPEC) 吉田 尚郁 研究員
- 7 月 05 日 「海・サカナ・ヒト～持続可能な漁業システムによる海と陸の循環～」
氷見市立博物館 小境 卓治 館長
- 7 月 12 日 「水・緑の循環と富山—黒部川扇状地から考えること—」
日本大学大学院 理工学研究科 地理学専攻 水嶋一雄 教授

[5] 文科省のG Pの採択について

- ① 平成 21 年度には、「大学教育・学生支援推進事業」【テーマB】学生支援推進プログラム
取り組み名称：学生・大学・地域社会との協同による地域貢献型社会人基礎力の育成
3 ヵ年計画として本学の取り組みが採択されその 2 年目として活動を行った。
(キャリア支援センター所管)
- ② 平成 22 年度には、「大学生の就業力育成支援事業」
取り組み名称：入学から卒業までの体系的な就業力育成教育
5 ヵ年計画として本学の取り組み提案が採択された。文科省全体の予算縮減の要請により減額も
予想されるが、平成 22 年度から活動を開始した。

[6] 平成 22 年度の認証評価を受けた

法律によって大学は 7 年に一度は認証評価を受けることが義務付けられている。本学は平成 22 年度に認証評価を受けることにし、準備を進めてきていた。外部評価機関は、(財) 日本高等教育評価機構である。6 月に「自己評価報告書・本編」「自己評価報告書・データ編」ならびに関係書類を提出し、8 月末には書面による質問、それへの回答を経て、10 月 27 日 (水) ~29 日 (金) には機構の評価員による現地調査が実施された。(呉羽キャンパスは 27 日、東黒牧キャンパスは 28 日、29 日) 認証評価結果は年度末ごろになると思われる。

[7] 資格取得支援講座

現代社会学部では「なりたい自分」をサポートする資格支援ということでカリキュラム上で単位修得により取得できる資格に加えて、検定合格により取得できる資格取得支援の講座を通常の時間割外に、各資格教育の専門家に依頼して開設した。(受講希望者などに応じて受講料なども一部助成) 徐々に目標とするレベル、開設する資格講座の種類も増やして行く。

平成 22 年度の資格支援講座名：国内旅行業務取扱管理者、簿記 3 級、簿記 2 級、販売士 3 級、販売士 2 級、インテリア・コーディネーター、これ以外にカリキュラム上で取得できる資格もあり、また、各専攻演習・実習など授業の中で資格取得につながる講義も実施されている。

現代社会学部・地域学部の対外事業関係

[1] シンポジウム・フォーラム開催 (本学主催)

① 富山国際大学創立 20 周年記念、富山国際大学国際交流シンポジウム (第 5 回)

テーマ：北東アジアにおける国際交流のあり方

日 時：平成 22 年 11 月 20 日 (土) 13:20～17:00

会 場：富山国際大学東黒牧キャンパス大講義棟 I

主 催：富山国際大学

後 援：富山県、富山市、富山県教育委員会、富山市教育委員会、富山商工会議所、富山県経営者協会、富山第一銀行、コラボ産学官富山支部、北日本新聞社、富山新聞社、読売新聞北陸支社
[プログラム]

第 I 部 創立 20 周年記念式典 (13:20～14:00)

式辞 中島 恭一 富山国際大学学長

理事長挨拶 金岡 祐一 富山国際学園理事長

来賓挨拶 石井 隆一 富山県知事、金岡 純二 富山第一銀行代表取締役会長

中尾 哲雄 インテック代表取締役会長

第 II 部 記念講演 (14:00～14:50)

「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」、森 雅志 富山市長

第 III 部 第 5 回 国際交流シンポジウム (15:00～16:00)

「北東アジアにおける国際交流のあり方」

1) 基調報告 韓国 洪 徳律 大邱大学校総長

2) 基調報告 ロシア ゲンナジー・ラザレフ ウラジオストク経済サービス大学学長

3) 基調報告 中国 郭 艶玲 大連海洋大学外国語学院院长

パネル・ディスカッション (16:00～)

パネリスト：森 雅志氏、洪 徳律氏、ゲンナジー・ラザレフ氏、郭 艶玲氏

コーディネーター：中島 恭一 富山国際大学学長

② 富山国際大学開学 20 周年記念

第 4 回 日本海学・森のファンタジー「公開シンポジウム」

里山の環境に求めた建学の思い！～富山国際大学の「創設理念の精神」と環境・造形～

1. 主催：富山国際大学、日本海学・森のファンタジー実行委員会

共催：NPO 法人 ものづくり生命文明機構、(専) 職藝学院

後援：富山県高等教育振興財団、富山県[立山博物館]、NPO 法人 環・日本海、
(株) 三四五建築研究所、NPO 法人 日本文化交流センター、富山市、
北日本新聞社

2. 期間：2010 年 10 月 30 日 (土) ～ 31 日 (日)

3. 会場：メイン会場 富山国際大学東黒牧キャンパス

サブ会場 富山県[立山博物館]、遙望館、職藝学院

4. 参加者：約 150 名

5. 参加費：無料

6. 日程

10 月 30 日 (土) エクスカーション

12:30～15:00 富山県[立山博物館]～「遙望館」見学、宿坊で当時の参拝者が感じ取った雰囲気
に浸れます。

- 15:00～15:30 ウエルカムコンサート FUGA「和の世界」
15:40～16:40 立山の歴史と信仰の世界の展示・講演
米原 寛 (富山県[立山博物館]館長)
18:30～21:00 ナイトセッション
「豊かな里山で日本海学と地域社会の将来の夢を！2011 構想に向けて」
話題提供／吉澤保幸 (ものづくり生命文明機構常任幹事) 他
場所：インテック大山研修センター (富山市東黒牧) TEL (076)483-8111

10月31日(日) シンポジウム

- 9:20～ 9:30 開会の挨拶 金岡 祐一 (富山国際学園理事長)
9:30～11:30 【第I部】基調講演
コーディネーター：北野 孝一 (富山国際大学現代社会学部教授・学部長)
稲葉 實 (三四五建築研究所代表・富山国際職藝学園理事長)
「東黒牧キャンパスの学舎群は何故、散らばっているのか？」
学舎の棟持ち柱は建学神話の残照か？その謎を解く」
基調講演を受けて
①浦山 隆一 (富山国際大学現代社会学部教授)
「東黒牧キャンパスの持つ環境・建築の価値について」
②尾畑 納子 (富山国際大学現代社会学部教授)
「学生とつくるキャンパス環境」
11:30～13:20 昼食&コンサート FUGA「♪悠～遊～友♪」
13:30～14:30 【第II部】講演
司会：中山 妙子 (NPO法人 環・日本海副理事長)
上野 幸夫 (職藝学院教授・NPO法人伝統文化技術研究会“とき”理事長)
「富山の木造建築文化と環日本海交流史」
14:40～16:00 【第III部】パネルディスカッション「富山国際大学に何が可能か？」
コーディネーター：吉澤 保幸 (NPO法人ものづくり生命文明機構常任幹事)
①北野 孝一 (富山国際大学現代社会学部教授・学部長)
「富山国際大学の今後20年の方向性と新たなるルネサンス計画試案」
②高橋 光幸 (富山国際大学現代社会学部教授)
「里山に抱かれた学園キャンパスの観光資源としての意味と価値」
③中井徳太郎 (財務省主計局主計官)
「日本海学と『いのち』の繋がり」
16:00～16:10 閉会の挨拶 中島 恭一 (富山国際大学学長)
16:10～17:20 職藝学院キャンパス、東黒牧台地‘むら’の見学・散策

③ 第7回 とやま産業観光フォーラム2011

- ・日 時 平成23年2月15日(火) 午後1時～4時
- ・場 所 富山県民会館4階401号室
- ・主 催 富山国際大学現代社会学部 とやま産業観光推進協議会 富山商工会議所
- ・後 援 富山県 富山市 北陸経済連合会 (社)富山県観光連盟 富山市観光協会 (財)富山コンベンションビューロー 富山商工会議所連合会 富山県商工会連合会 (財)富山県高等教育振興財団 富山観光創造会議
- ・プログラム
12:00～13:00 受付

- 13:05~13:15 開会挨拶
 13:15~14:15 **基調講演 I**
 「加賀屋の台湾進出戦略と外国人観光客開拓について (仮題)」
 (株)加賀屋 代表取締役会長 小田禎彦(おださだひこ) 氏
 14:15~14:25 休憩
 14:25~15:55 **基調講演 II**
 「北陸物語～北陸を彩る5つの物語と11の広域観光モデルコース～」
 北陸経済連合会 専務理事 塩谷敏文 氏
 15:55 閉会挨拶

[2] 富山国際大学公開講座

① 富山国際大学ビジネスマン・イブニングセミナー

定 員: 講座1, 2, 3, 4は約10名 (先着順)

開催時間: 19:00~20:30頃まで

受講料: 講座1, 2, 3, 4は10,000円 (5回分、資料代含む)

会 場: 富山国際学園サテライト・オフィス「地域交流センター」
 〒930-0002 富山市新富町1-2-3 C I Cビル3階

授業形式: ゼミ形式

修了証書: 終了時に修了証書を発行

対 象 者: 主として県内企業のビジネスマン

主 催: 富山国際大学

後 援: 富山県、富山市、高岡市、(財)富山県高等教育振興財団、(財)富山県新世紀産業機構、
 (社)富山県経営者協会、富山県商工会議所連合会、富山県商工会連合会、
 富山県中小企業団体中央会、富山経済同友会、富山商工会議所、高岡商工会議所

○コース1: オンラインショッピング講座 「オンラインショッピング事業を学ぶ」

本講座では、オンラインショッピング事業を手がけるに当たり必要な基礎知識を得ることを目的とし、消費者から見て魅力的なホームページはどのようなものであるかを、特にホームページ構成、商品政策、価格政策等の側面から検討する。

6月02日(水) オンラインショッピングのホームページ開設に当たって

6月09日(水) オンラインショッピングの商品政策と価格政策

6月16日(水) オンラインショッピングのプロモーション政策

6月23日(水) オンラインショッピングの顧客管理と苦情処理

6月30日(水) オンラインショッピング事業の現状と今後

講師: 株式会社アクセスネット情報技研代表取締役社長 長棟 隆 氏

事務局: 現代社会学部 長尾治明 教授、高橋哲郎 教授

○コース2: マーケティング講座 「マーケティングの基本を学ぶ」

本講座は、需要創造や拡大の考え方や方法について、消費者の視点から検討する。まず、マーケティングの基本を理解し、次に顧客と市場それぞれの対応について、更に価値の創造 (製品・価格) と伝達 (チャネル・プロモーション) について学ぶ。

7月14日(水) マーケティングの基本理解

7月21日(水) 顧客との関係構築

7月28日(水) 市場への対応

8月04日(水) 価値の創造

8月11日(水) 価値の伝達

講師: 現代社会学部 長尾治明 教授

事務局：現代社会学部 高橋哲郎 教授

○コース3：リーダー養成講座 「リーダーの役割や在り方を学ぶ」

本講座では、中小企業の経営者を対象に、組織におけるリーダーの役割や在り方について検討すると共に、部下の育成法と部下のやる気創出法についても言及する。

11月10日(水) 今日の祖組織リーダーの在り方(1)

(株)日本政策投資銀行北陸支店長 高橋一浩 氏

11月17日(水) 今日の祖組織リーダーの在り方(2)

(株)トンボ飲料代表取締役社長 翠田^{みすた あきお}章男 氏

11月24日(水) 部下の育成法とやる気創出法(1)

カナヤママシナリー株式会社代表取締役社長 金山宏明 氏

12月01日(水) 部下の育成法とやる気創出法(2)

(株)株式会社マスオカ代表取締役社長 増岡一郎 氏

12月08日(水) 部下の育成法とやる気創出法(3)

(株)損保保険ジャパン富山支店長 陶山雅弘 氏

事務局：現代社会学部 長尾治明 教授、村瀬直幸 教授

○コース4：観光地域づくり人材育成講座 「観光地域づくり人材育成について学ぶ」

本講座では、県内の観光による地域づくり関係者を対象に、観光による地域活性化の考え方やノウハウについて検討する。今回は観光ルート、食観光、宣伝・プロモーション、観光ガイドについて学ぶ。

平成23年

1月19日(水) 着地型観光ルートづくりについて

小矢部市観光協会専務理事兼事務局長 森谷義一 氏

1月26日(水) 広域型観光ルートづくりについて

富山国際大学 現代社会学部 長尾治明 教授

2月02日(水) 観光地の土産品とグルメ料理の開発について

(財)地域振興研究所 主任研究員 谷本 互 氏

2月09日(水) 観光地の宣伝・広報活動と観光客の誘致について

(株)シー・エー・ピー代表取締役社長 山下隆司 氏

2月16日(水) 観光ボランティア・ガイドの育成と維持・強化について

小矢部市観光協会専務理事兼事務局長 森谷義一 氏

事務局：現代社会学部 長尾治明 教授、高橋哲郎 教授

② 平成22年度 高岡市生涯学習センター連携講座

富山国際大学公開講座テーマ：「世界の歴史と文化を知る」

- 1) 6月26日(土) 鈴木康雄客員教授：「あなたは、世界をどこまで知っていますか？」
- 2) 7月24日(土) 佐藤悦夫准教授：「世界遺産メキシコのテオティワカンを掘る」
- 3) 8月28日(土) 大谷孝行教授：「笑いの人間学(その根源と比較文化の視点から)」
- 4) 9月25日(土) 助重雄久准教授：「地図で読み解く地域の変遷—富山県西部を中心に—」
- 5) 10月23日(土) 才田春夫教授：「国際NGOとボランティアの実践—サモア諸島から見た世界—」

[3] 富山国際大学「高校生！エコ体験学習ツアー」

- ・事業の概要：食と地産地消から環境を知る ～フードマイレージって何？～
- ・日時：平成22年8月4日(水曜日)9時00分～15時00分
- ・訪問場所：JAかあさんの店、養鶏農家「里わらべ」、グリーンパルよしみね(すべて立山町)

- ・参加者：富山いずみ高校 28 名（うち教員 1 名）
- ・主催：富山国際大学現代社会学部
- ・協力：富山いずみ高校家庭クラブ

[4] 「富山を知ろう」Part 1～黒部川扇状地の水環境と観光～

- ・実施日：2010 年 8 月 19 日 (木) / 富山国際大学現代社会学部・日本黒部学会 共催
- ・案内者：王生 ^{いくるみ とおる} 透（黒部市吉田科学館学芸員、日本黒部学会会員）、
富山国際大学現代社会学部 ^{すけしげ たけひさ} 助重 雄久准教授（観光専攻、日本黒部学会会員）
- ・参加者：水橋高校・生徒 4 名、高岡南高校・生徒 2 名＋谷川淳教諭、中央農業高校・生徒 2 名
- ・日程・見学コース：
 - 9:00 富山駅北口出発
 - 10:10 頃 北陸新幹線新黒部駅、旧北陸道松並木等を車窓より見学
 - 10:40～11:10 宇奈月ダム、大夢来館（だむこんかん）見学（ダムの概要や治水事業、黒部峡谷・宇奈月温泉の観光とその課題）
 - 11:30～12:30 愛本橋（北陸道の要所・愛本刳橋、扇状地の扇頂部、堰堤等の景観観察、昼食）
 - 12:45～13:00 ^{にざやま} 下山芸術の森発電所美術館（低落差発電、旧扇状地と新扇状地の比較）
 - ★美術館内は見学しません
 - 13:10～13:20 黒部川右岸小摺戸提付近（車内より霞堤、水制見学）
 - 13:35～14:15 杉沢の沢スギ見学（植生観察、湧水の水質調査）
 - 14:20～14:40 富山杉沢の沢スギ見学（植生観察、湧水の水質調査）
 - 14:55～15:30 黒部市吉田科学館（特別展「川の中には何がいる？～黒部川扇状地に広がる生態系～」を見学）
 - 15:45～16:15 生地の ^{しょうず} 清水（水質調査、清水を巡る観光まち歩きへの取り組み）
- ・解散：16:30 JR 黒部駅前 17:30 富山駅

[5] 平成 22 年度高校出講プログラム等による実施記録

高校などからの依頼により実施した回数は 45 件となった。受験生を少しでも増やしたいと本学が富山県内で最初に「出前講義」として開始したが、現在は県内の各大学、県の機関、経済界、国の各機関なども加わって当初ほどの効果は期待できなくなってきている。全く本学に学生を受験させることを考えてもいないのに無料ということでの依頼や、業者主催のイベントへの講師派遣要請もあって、件数の増加への対応を検討すべき時期にきていると思う。

○ **高校と大学の連携実習及び講義**として 2 件（継続）が実施された。

① 富山県立大門高等学校：高大連携実習

夏季休暇中に「インテック大山研修所と富山国際大学 4 号館」で 1 泊 2 日（8 月 9 日～8 月 10 日）で「コンピュータを使って富山を考えよう」のプログラムで情報処理・地理情報・ネットワークなどこれからのデジタル・ネットワーク社会の最前線を垣間見て進路選択や生き方などを考える場になることを期待して情報系関係教員陣が指導にあたった。

[1 日目：8 月 9 日（月）]

9:45～10:00 到着後（荷物は 402 号室に）開会式、担当教員紹介

10:00～11:30 講義「ユビキタス・ネットワーク社会」（401 教室）北野 孝一 学部長 11:30～12:00

富山国際大学東黒牧キャンパス見学など

12:00～13:00 昼食(401 教室又は厚生会館)、休憩

13:00～15:00 **実習1** 「デジタル地図で世界をみてみよう」(第3 コンピュータ室)

指導教員：増田 功 教授、助重 雄久 准教授、宮森 玉江 さん

- ① 「カシミール」で山を描こう(約30分)
- ② 「Google Map」で世界をみてみよう(約30分)
- ③ ストリートビューとプライバシー(約30分)

(各テーマのソフト切り替え等の間に小休憩5分程度)

〈おもな内容〉インターネット上で無料で見られるデジタル地図やソフトを紹介し、それらを実際に使って、いろいろな地域の様子を見てみます。また街の様子を写真で見られる「Google Map」のストリートビューとプライバシーの問題について説明します。

15:00～15:10 休憩

15:10～17:00 **実習2** 「GIS(地理情報システム)を使ってみよう」(第3 コンピュータ室)

指導教員：助重 雄久 准教授、宮森 玉江 さん

- ① デジタル地図は緯度と経度と高さが命！(約20分)
- ② GISで社会の動きをとらえよう(約20分)
- ③ 47都道府県のなかの富山県-GISソフト「MANDARA」を使ってみよう(約45分)

(途中、適宜小休憩をとります)

〈おもな内容〉最初にデジタル地図の利用でもっとも大切な緯度と経度と高さの話をしてもらいます。その後、大学生が卒論のためにGISで作成した地図を数枚見て、GISで何が読みとれるのかを説明します。最後に、簡単なデジタル地図GISソフト「MANDARA」を皆さんに使ってもらい、GISのしくみについて理解してもらいながら簡単な作業をしてみます。

* 最後に、指導教員から、グループ毎に、テーマ設定とまとめ・プレゼンの構想などの概略を考えるためのアドバイスなど期待したい。

17:00～後かたづけの後、インテック大山研修所に移動

18:00～20:00 夕食、入浴等

20:00～21:00頃 懇談会(大学からは北野、黒田 明 参事が出席予定)

話題提供：「大学、社会・企業が求める人材」(仮) 北野 孝一 学部長

21:00過ぎ～22:30 グループ毎にテーマ設定と発表のための話し合い(ノートPC利用)

23:00 就寝

[2日目：8月10日(火)]

6:30～8:20 起床、朝食

8:20～8:30 大学に移動

8:30～11:50 **実習3** 「統計から富山を考えよう」(第3 コンピュータ室)

指導教員：浜松 誠二 教授、高尾 哲康 准教授、宮森 玉江 さん

- ① 富山の特徴(約60分)
- ② Excelを用いたグラフの作り方(約40分)
- ③ グラフや地図の作成(約90分)

(途中、適宜小休憩をとります)

〈おもな内容〉さまざまな統計から富山県の特徴を考えてから、統計からグラフを作るコツを学びます。そのあと午後のプレゼンテーションに向けてグループでグラフや地図を作成していきます。グラフや地図を作成は教員全員がアドバイスします。

11:50~12:00 インテック大山研修所に移動

12:00~12:50 昼食(インテック大山研修所)、休憩

12:50~13:00 大学に移動

13:00~14:10 **まとめ・プレゼンテーション作成**(第3 コンピュータ室)

〈おもな内容〉グループ毎に、実習で学んだ GIS やグラフ、写真などを使ってプレゼンを作成します。

14:20~15:00 **プレゼンテーション発表**(第3 コンピュータ室)

〈おもな内容〉作成したプレゼンファイルを用いて、グループごとに簡単な発表を行います。最後に、大学の指導教員からコメント・講評など。

15:00~16:00 後かたづけ、アンケートの後、大学出発

17:20 大門高校到着、集会后解散

② 富山県立小杉高等学校：高大連携講義

7月23日(金)：富山国際大学東黒牧キャンパス

9:00~10:30

(開講式含む) 世界遺産：建築編

浦山隆一 教授

10:40~12:10 ラテンアメリカと日本

佐藤悦夫 准教授

13:00~14:30 不安、緊張、雑念などとのつきあい方

大谷孝行 教授

7月28日(水)：小杉高校

9:00~10:30 高校生と考える日本の未来

大西一成 教授

10:40~12:10 感動を生む「サービス」とは

斎藤敏子 准教授

13:00~14:30 レポートまとめ

7月29日(木)：小杉高校

9:00~10:30 中国語の文法、会話、読本、作文

湯 麗敏 准教授

10:40~12:10 韓国語と韓国事情

高橋哲郎 教授

7月30日(金)：小杉高校

9:00~10:30 企業は社会の中でどういう役割を果たせばよいか

村瀬直行 教授

10:40~12:10 北海道ニセコになぜオーストラリア人が来るのか知っていますか

成澤義親 教授

13:00~14:30 レポートまとめ

7月31日(土)：富山国際大学東黒牧キャンパス

9:00~10:30 流通のしくみはどうなっているのか

長尾治明 教授

10:40~12:10 くらしと水

尾畑納子 教授

13:00~14:30 オープンキャンパス、模擬授業、総括、Q&A

[6] 富山第一銀行奨学財団からの助成による研究

現代社会学部は70万の研究助成を得て下記の4件の研究を実施した。

- ① 教養教育 「1・2年生の大学生活への適応支援～ツールブック作成のために～」大谷孝行教授
- ② 観光専攻 「富山県の観光の現状と課題に関する研究」(III) 斎藤敏子准教授(研究代表)
- ③ 環境デザイン専攻 「富山県の小水力利用の調査」郷龍夫教授
- ⑤ 経営情報専攻 「公共交通を利用した新しい生活のイメージの調査」浜松誠二教授(研究代表)

本学部としては、大学院設置を目指しているの、言うまでもないことですが、教員陣の研究力・教育力を高めることに活用する。成果は論文として発表することを期待している。

[7] 「東黒牧ニュース」の発行

富山国際大学の創設の地・里山「東黒牧」の大学キャンパスでの日々の活動・里山林での「いのち」の営みや紡ぎあいの中からキラッと輝くニュースを発信して行く。東黒牧での大学の様々な活動の一端や豊かな自然の中での土に根ざした生き物の輝きを伝える事で大学そのものを真に知っていただく、加えて入学生を一人でも多く確保することに寄与したい。現状での入学生確保のための高校訪問では主として3年生・進路指導部を対象にしているが、2年生、1年生に対して大学を知ってもらう手段が極めて少ないのが現状である。地域学部創設以来7～8年間も継続して「課題研究コンテスト」、「ホームページコンテスト」などの応募依頼（同時に大学の他大学との差別化の説明）のための訪問のツールにして、3年生のみでなく各高校の生徒全体を対象に努力を重ねてきた、一部の高校では高大連携に繋がって信頼関係の確立という成果や新聞記事なども通してそれなりの効果を挙げてきたと思っているが、マンネリ化も感じられるので、新たな広報の役割を担う媒体として創刊した。原則A4版1ページ（カラー写真を含む）とする。平成22年度は大学の様々な機会を捉えて東黒牧キャンパスを理解していただくツールとして、すこぶる好評であった。平成22年度は年間で約100回程度となるか。これを冊子体にして簡易製本した上、高校に配布する（年間を通しての植物や小動物の四季折々の生き物の生き生きと輝いている様や大学としての教育・地域貢献などの取り組みなど纏めたモノとする）。

[8] 平成22年度国別研修「仏語圏アフリカ持続可能な観光開発」コース研修

国際協力機構（JICA）は、アフリカ諸国を対象にした観光開発研修事業の実施を予定し、委託先として富山国際大学が決定した。研修のテーマは「持続可能な観光開発」で、アフリカ大陸の仏語圏のカメルーン、セネガル、モーリシャスや中央アフリカなど12カ国の政府の観光行政担当者ら20名が、2月18日～3月9日の約3週間にわたり「自国における観光資源の価値を判断し活用できる」、「地域の人々の生活向上を考えた観光開発を計画することができる」、「地域の観光開発において必要な段階的なプロセスを踏まえた計画の遂行ができる」、「自然環境の保全に配慮した観光開発を計画することができる」などを目標に、講義、富山県内・外の関係地域の視察や討議・グループワークを精力的に重ねる。指導は本学の高橋光幸教授、成澤教授、才田教授、浦山教授、佐藤准教授、視察先の関係者などが担当する。このような取組みは県内の観光地に対して新たな国際的な視点での観光開発・地域間交流への示唆を与えるとともに本学の観光専攻の学生たちにも中間取りまとめや総括報告などに参加することで様々な多様性を踏まえた国際的な取組みにも関心を持ってもらって、人的交流や途上国の国づくりに貢献するような国際人の育成にも繋がると確信している。

[9] (中国) 大連・遼寧師範大学と教育・学術交流協定締結

現代社会学部の北野孝一学部長を団長に、高橋光幸観光専攻長、成澤義親教授、佐藤悦夫准教授の4名が9月15日～18日に中国・大連にある遼寧師範大学を訪問し、歴史文化旅遊学院（観光学部）で教員及び約50名の学生の前で各々30分ずつの研究発表を行い、参加者と意見交換をした。また田広林 学院長などと学術交流に向けての協議を行い今後学術交流を進めることで原則的に合意し、協定は年内に遼寧師範大学の代表団が富山国際大学を訪問し締結することとした。なお、遼寧師範大学から北野学部長に客員教授の称号が授与されました。正式の教育・学術交流の協定は12月2日に、遼寧師範大学の代表団（歴史文化旅遊学院副院長の謝 春山教授を団長に、陳 才教授、劉 俊勇教授、王 輝副教授の4名）が本学を訪問し、団長の謝 春山副院長と本学の中島恭一学長との間で、観光を中心とした地域の活性化策などを共同研究するほか、セミナー・シンポジウムの開催など通じ交流を進めるとの協定を締結した。本学は「北東アジアの交流拠点」を目指して多くの環日本海地域の大学と学術交流協定を結ぶ相互留学など積極的な活動を展開しているが、今度は研究面を軸に、新年度には「富山県と中国東北地方間の観光促進のための取組み」の共同研究プロジェクトを発足させる。今回の遼寧師範大学との交流を深めるきっかけになったのは、金沢星稜大学の藤井一二教授、

大連大学東北史研究センター主任の王 禹浪 (おう うろう) 教授の献身的なご協力の賜物であることに深く感謝したい。

[10] 産官学が連携してのキャンパスの里山林での森づくり事業

(最前線の研究現場から「森林保全テーマに産官学が連携」:「実業之富山」2009.10月号に掲載) 富山市の「環境モデル都市」選定(平成20年度)に伴って策定された「富山市企業の森づくり促進事業」によるもので、平成21年度から継続実施。きんたろう倶楽部との協働事業は5年目。

1) ノエビア富山販売(株)・富山国際大学・富山市の協働事業(フォレストノエビア)

として5年計画で国土の保全や地球温暖化防止、生物多様性保全などを目的に里山林整備、健全な森作り作業を実施。

- ① 第1回 平成22年5月16日 ノエビア、富山国際大それぞれ約30数名、県(とやまの森づくりサポートセンター)・市の関係者数名の参加のもと、里山林整備(除伐、下草刈、チップパー機による粉砕など)。
- ② 第2回 平成22年10月3日 ノエビア、富山国際大学それぞれ約20数名、県・市の関係者2名の参加のもと里山林整備。終了後は、恒例となった味噌汁付き昼食と今回は、北陸琴民謡学院院長の村松博子さんとお弟子さんによる癒しの演奏や森林ボランティアの三島さんの作詞・作曲を聴きながら作業の疲れを取りました。

2) 大和ハウス工業(株)・富山国際大学・富山市の協働事業(エンドレスハートとやまの森)

として5年計画で健全な森づくり(混交林として整備)を実施(植林・育成も含む)。

- ① 第1回 平成22年6月20日 大和ハウス工業関係者30数名、県(とやまの森づくりサポートセンター)・市の関係者約10名、大学2名、総勢約50名で下草刈・植林作業実施。今回は、なら(約200本)、くり(約150本)の植樹と標識立て、及び、伐採木から生えているヒコバエにも成長したらバランス取れるように標識立てを行った。総数400本程度を育成して行きたい。

3) 森林保全ボランティア「きんたろう倶楽部」と協働でキャンパス林の整備

富山市内では7カ所の活動地域を設定している。その中に富山国際大学キャンパスを含む東黒牧地域がある。5年目の活動として平成21年9月11日、昨年に引き続き第2駐車場(テニスコート)の南側の里山林の整備作業・チップパー機による粉砕などを実施した。大学からは「環境サークル」「テニス部」の学生や教職員合わせて約30名を含めて総勢約60名が活動に参加した。

<平成22年度の教員活動実績>

教授 浦山 隆一

【著書・論文・報告】

1. 「黒部川扇状地の農村社会の変容 (第3報) ～入善町における農村への集合住宅の進出～」 (真岩六造・盛田親義・真岩利博・米沢亘との共同報告) ; 黒部川扇状地研究所編『研究紀要 黒部川扇状地 第35号』P63-70、(2010.3)。

【口頭発表】

1. 第1回島と山の人文韓国 (HK)・韓日合同セミナー (2010.9.1 韓国・木浦大学校島嶼文化研究院) 「沖縄における近世集落形成に関わる「抱護」の林への総合的アプローチ (일본 오키나와지역 근세취락에 관한 “포호” 숲에 대한 종합적 접근)」 (澁谷鎮明との共同発表) ; セミナー講演梗概集『村と林についての文化的考察』P48-57。

【研究活動】

1. 「沖縄の集落空間における人工林「抱護」の形態と機能に関する研究」 (平成21年度～23年度) 平成22年度科学研究費補助交付金[基盤研究 (B) 課題番号 21360300] 研究代表者
2. 「沖縄の固有文化が持つ環境観と空間構成技術から見た集住環境の構成原理に関する研究」 (平成22年度～24年度) 平成22年度科学研究費補助交付金[基盤研究 (B) 課題番号 22360257] 研究分担者

【大学主催地域社会活動】

1. 第4回 日本海学・森のファンタジー 公開シンポジウム「里山の環境に求めた建学の思い！—富山国際大学の建学の精神と環境・造形—」: 基調講演を受けた「黒牧キャンパスの持つ環境・建築の価値について」発表、(2010. 10. 31)。

【学外活動】

1. 富山市民大学「実年ライフ知恵」コース、講師「快適な住まいの風水学 ～きもちのいい場所・空間・家～」 (2010. 5. 12)
2. 富山国際大学附属高校フロンティアコース連携授業 : 「住環境デザインの潮流」 (2010. 7. 8)
3. 富山県立小杉高校高大連携講座「世界遺産：建築編」 (2010. 7. 23)

【非常勤講師】

「人間と環境」専門学校職藝学院 (2010. 4～8)

【学外役員・学外委員会委員】

1. 黒部川扇状地研究所副所長、
2. 入善町総合計画審議会委員、入善町文化財保護審議委員
3. 2010年度日本建築学会大会 (北陸) 実行委員会部会幹事

教授 大谷 孝行

【著書・論文】

- ・「人文系学部の授業への森田療法導入」富山国際大学現代社会学部紀要、2010 年
- ・北日本新聞のコラム「心のかたち」に、署名入りの記事として以下の日にわたって連載。
1月16日、2月13日、3月13日、4月10日、5月1日、6月5日、7月3日、
7月31日、8月28日、9月25日、11月20日、12月18日

【学外活動】

1. 講演・発表

- (1) 高校及び地域社会への出前講義 講義題目、(主催、出講月日)の順で
 - ・「森田療法による生きづらさの克服」(メンタルヘルス岡本記念財団、2月13日)
 - ・「日本人は今、幸せなのか」(富山ロータリークラブ、2月16日)
 - ・「心の健康づくり～人間と笑い、ユーモア～」(射水市福祉保健部、2月19日)
 - ・「日本の精神療法に学ぶ生き方」(高岡市教育委員会生涯学習課、3月2日)
 - ・「内観と幸せ」(浄土真宗本願寺派 発願寺、3月27日)
 - ・「社会で働くにあたって必要な人間性」(高岡商業高校、6月24日)
 - ・「それでもやっぱり笑いましょう」(富山県訪問看護ステーション連絡協議会、7月1日)
 - ・「笑いを忘れない人生」(立山地区社会福祉協議会、7月2日)
 - ・「日本の心理療法に学ぶ生き方」(北陸内観懇話会、7月17日)
 - ・「富山県民にとっての笑いとうもろ」(富山県民生涯学習カレッジ、8月7日)
 - ・「笑いの人間学～その根源と比較文化の視点から～」(高岡市教育委員会生涯学習課、8月28日)
 - ・「人生を前向きに生きる～笑いとうもろ～」(富山市高園町長寿会、9月14日)
 - ・「社会人としてのコミュニケーション能力を育てる」(魚津工業高校PTA部会、10月16日)
 - ・「人生、笑わにゃ損、損」(富山医療生活協同組合、10月17日)
 - ・「人間関係に生かす森田療法」(生活の発見会富山集談会、11月7日)
 - ・「心すこやかに生きるために」(射水市保育士研修会、11月18日)
 - ・「ユーモア精神で生きる」(浄土真宗本願寺派 発願寺11月23日)
- (2) 本学主催の公開講座 講演題目、(開催月日)の順で。
 - ・「富山県民にとっての笑いとうもろ」(2月27日、CICビル)
 - ・「不安・緊張・雑念とのつきあい方」(小杉高校異文化理解講座、7月23日)
 - ・「森田療法に学ぶ生き方(1)」(10月4日、CICビル)
 - ・「森田療法に学ぶ生き方(2)」(10月23日、CICビル)
 - ・「内観療法に学ぶ生き方(1)」(10月30日、CICビル)
 - ・「内観療法に学ぶ生き方(2)」(11月6日、CICビル)
 - ・「心の健康と笑い」(11月20日、CICビル)

2. 社会活動

- (1) 森田療法自助グループ NPO 法人「生活の発見会」富山支部委員
- (2) NPO法人「生活の発見会」主催による富山集談会の運営及び司会。
(富山県民会館、1月10日、2月7日、4月4日、6月6日、7月4日、8月1日、9月5日、10月3日、11月7日、12月5日)
- (3) インターネット市民塾で「日本の精神療法に学ぶ生き方」開講。9月～12月。

【論文】

『デフレーションに関する要因分析と推計』～1990年以降の日本における物価動向を中心とした分析と推計～Analysis and Estimations of Deflation 富山国際大学現代社会学部紀要 第2 卷
2010年3月

【講演会】

- ・富山国際大学 サテライト市民講座Ⅰ（県民カレッジ連携講座）
『回復そして成長を模索する日本経済～デフレ、財政赤字からの脱却に向けて～』（2010年7月24日）
- ・富山国際大学 サテライト市民講座Ⅱ（県民カレッジ連携講座）
『少子高齢化が日本の経済システムにもたらす影響と対策～社会保障制度、地域社会の活性化の観点から～』（2011年2月26日）

【学外講座】

- ・エクステンション・プログラム（2011年1月～3月）
『暮らしの経済～豊かな暮らしを考える～』（5回シリーズ、一部予定を含む）
 - ① 「若い世代のためにも年金について考えよう！」
 - ② 「医療と介護の現状と将来」
 - ③ 「少子高齢化に求められる地域の取り組みとは？」
 - ④ 「豊かな暮らしを求めて～働くこととくつろぎ～」
 - ⑤ 「身近な町の活性化～富山市を例に～」

【高校出向プログラム】

富山県立雄山高等学校（6月23日）
『人口が減ると日本はどうなるの？富山は？』

【富山県立小杉高等学校高大連携講座】

『高校生と考える日本の未来』（7月28日）

【非常勤講師】

富山大学 医・薬学部
「経済学」（前期）、「医療と経済」（後期）

教授 尾畑 納子

[論文等]

1. 「環境負荷軽減のための洗浄に関する基礎研究 第6報」 富山国際大学現代社会学部紀要第2巻, 59～65 (2010)
2. 「くらしと水ー次世代に伝えたいこと」(財)砂防・地すべり技術センター「SABO」Vol.104, 17-18 (2010)

[研究発表]

1. 環日本海機能水バイオ研究会：第18回環日本海機能水バイオ研究会(2010.5.22.富山県立大学)
「環境に負荷を掛けない衣類の洗浄ーアルカリ電解水の応用ー」
2. 平成22年度第一銀行奨学研究セミナー研究成果発表会(2010.6.8,富山国際会議場)
「環境に負荷を掛けない洗浄システムの研究」
3. (社)日本油化学会：第42回洗浄に関するシンポジウム(2010.10.20～21,江戸川区総合区民ホール)
「アルカリ電解水/酵素混合系での洗浄性」(研究発表要旨集 p99-100)

[研究活動]

1. 「被服整理学実験・衣料管理実験の化学物質リスク回避のための総合的研究」
平成22年度科学研究費補助交付金[基盤研究A]継続：教育効果を高める安全な洗浄試験方法の
考案について研究分担,(研究代表者大矢勝横浜国立大学教授)
2. 繊維製品消費科学会投稿論文査読(1件),水環境学会査読(1件),家政学会誌査読(1件)

[学外活動]

1. 研究会・講演会・出講プログラム等講師

- ・ 黒部商工会議所4月度例会「未来につながる環境保全～忘れていませんか？水の大切さ～」
(2010.4.19)
- ・ 富山の名水を守る会総会「今どきの洗濯事情と水環境」(2010.4.24)
- ・ 富山県民カレッジ新川地区センター講座「ライフスタイルを考えるー今、そしてこれからー」
(2010.5.1)
- ・ 富山市民大学教養講座講師「とやまの水事情：くらしと水」(2010.6.18,11.5)
- ・ (財)砂防・地すべり技術センター講演会「くらしと水ー次世代に伝えたいこと」(2010.6.23)
- ・ 第4回日本海学・森のファンタジー公開シンポジウム「学生とつくるキャンパス環境」(2010.10.31)
- ・ 環境とエネルギーを考えるとやま女性の会「水にまつわる話題」(2010.12.4)
- ・ 県民生涯カレッジ砺波地区センター講座「地域と水環境ー水と生活ー水に負荷を与えない生活」
(2010.12.11)

2. 各種委員等(平成22年度)

学会関係：繊維製品消費科学会理事、同北陸支部長、同学会誌論文編集委員、繊維機械学会北陸支部理事 等 地域活動：富山県消費者協会理事、富山県消費生活審議会委員、富山県環境審議会委員、富山市環境審議会委員、チューリップテレビ放送番組審議会委員、富山県環境財団評議員 北陸銀行経営諮問委員 等

[講演など]

1. 「地球環境保護と日本海学～地域社会に大学として何をすべきか?～」第8回日本海学遊友セミナー塾、富山国際学園地域交流センター (Cic ビル3F)、平成22年2月20日
2. 「未来の国際化のために求められることは?」、富山県立雄山高等学校、1～2年生 (320名) 対象分野別模擬講義、国際社会学分野、平成22年3月8日
3. 「いのちのつながり、『食』について思うこと」、自然食品で作る交流ネットワーク: ワークショップ (主催: NPO環・日本海)、(於: ラポール)、平成22年7月16日
4. 「ユビキタス・ネットワーク社会」、H22年大門高校・富山国際大学連携実習、(於: 富山国際大学4号館&インテック大山研修所)、平成22年8月10日
5. 「大学・企業・社会が求める人材」、H22年大門高校・富山国際大学連携実習、(於: 富山国際大学4号館&インテック大山研修所)、懇談会での講演、平成22年8月10日
6. 「富山国際大学の教育と日本海学への期待」、大連・遼寧師範大学歴史文化旅遊学院でのリレー講義 (於: 大連・遼寧師範大学国際交流センター会議室)、平成22年9月16日
7. 「富山国際大学の国際交流と日本海学の発展性」、第3回ローカルサミット (小田原)、「いのち拓く『アジア』」分科会、(於: 星槎湘南大磯校舎)、平成22年10月22日
8. 「富山国際大学の今後20年の方向性と新たなるルネッサンス計画試案」、富山国際大学開学20周年記念第4回日本海学・森のファンタジー「公開シンポジウム」: 里山の環境に求めた建学の思い!～富山国際大学の‘創設理念の精神’と環境・造形～、(於: 富山国際大学大講義棟I)、平成22年10月31日

[委員など]

1. 富山国際学園理事・評議員 (平成13年10月～現職)
2. 「未来観光戦略会議」理事、(平成15年5月～現職)
3. 富山国際センター理事 (平成22年5月～現職)
4. 富山市社会教育協議会委員 (平成17年7月～現職)
5. 富山市通学区域審議会委員 委員長 (平成20年4月～現職)
6. コーディネータ連絡会議 (とやま産業クラスターネットワーク構築事業) メンバー (財団法人富山県新世紀産業機構) (平成18年9月～現職)
7. NPO法人「環・日本海」理事長、(平成20年6月～現職)
8. 富山県大学連携協議会 GP 企画検討委員会 委員 (富山国際大学)、平成20年4月～現職)
9. 富山県立八尾高等学校 学校評議員、(平成20年6月～現職)
10. 日本海学研究グループ支援事業審査委員会 委員長 (富山県知事政策室国際・日本海政策課)、平成21年4月～現職)
11. 富山国際大学開学20周年記念 第4回日本海学・森のファンタジー実行委員会 委員長、テーマ: 「里山の環境に求めた建学の思い!～富山国際大学の創設理念の精神と環境・造形～」(平成22年10月30日～10月31日)、(於: 富山県立山博物館、富山国際大学、他)

12. 地酒で乾杯富山推進会議 幹事 (平成 21 年 12 月～現職)

13. 大連・遼寧師範大学歴史文化旅遊学院 客員教授 (平成 22 年 9 月 15 日)

教授 郷 龍夫

【著書・論文等】

- 1) 「小河川の流量測定」、富山国際大学現代社会学部紀要投稿
- 2) 「気相流動層反応装置における超微粉の流動化方法」、特許番号 第 4 4 4 1 7 6 0 号
特許権設定登録日 平成 2 2 年 1 月 2 2 日
- 3) 「数式を簡潔に分かり易くした文書」、特願 2 0 0 9 - 1 5 0 3 3 4
審判請求 平成 2 2 年 5 月 7 日

【学外活動】

○講演・外部講師

- 1) 高大連携授業「環境と経済」(これからの世の中はどこへ向かうのか)、
雄山高等学校 1 年生、平成 2 2 年 6 月 2 3 日
- 2) 産学官共同研究技術シーズ登録 2 件 「廃蛍光管の水銀回収」
「チタンブラック」

○学外委員会等

- 1) 富山市環境バイオ研究会委員

【その他】

○共同研究

- 1) 海洋深層水の活用技術
逆浸透膜による濃縮・淡水化 株式会社あいば食品
- 2) 超微粉の流動化技術の開発、群馬大学工学部

教授 才田春夫

【著書・論文・学会報告】

●論文

学生・住民参加型村落開発プロジェクトの可能性

●その他

東黒牧ニュース 国際交流実習報告：タイ国内 2,400km ボランティアの旅
JICA 観光研修テキスト

【学外活動】

●学外委員など

「富山県協働パワーアップセミナー開催事業」審査委員

「富山県がんばるNPO情報発信応援事業」審査委員

富山国際学園理事・評議員

富山県ボート協会理事

NGO インドネシア教育支援理事

富山県大学連携協議会及び学生部会委員

大学連携 GP FD/SD 推進委員

●地域での講演

(社) ガールスカウト日本連盟富山県支部総会にて：ボランティアで行なう途上国支援の意義

国際ソロプチミスト富山東総会にて：サモアにおける女性支援ボランティア 5年間の活動

高岡市民講座：国際NGOとボランティアの実践ーサモア諸島から見た世界ー

富山国際大学付属高校の国際理解講座で「富山国際大学の国際協力活動」

●学内委員

学務部長、改革実現委員

●部&サークル顧問

1) ボート部 2) ボランティア部 3) 国際交流サークル 4) ビーチボール

●その他

1) タイ山岳民族支援実施

2) JICA 講座：国際協力論開講

3) JICA 観光研修一部担当

教授 James W. Porcaro

論文

- SELHi retrospective: Reflective practice and teacher professional development. *Journal of Toyama University of International Studies*, 2010.
- Work habits of two craftsmen. *Humanising Language Teaching*, 2010, V.12, No.4.
- Considerations of classroom management in the age of “free-pass” universities. *Explorations in Teacher Education*, 2010, Vol. 18 (1).
- Task-based language teaching: How it works in the classroom. *Explorations in Teacher Education*, Vol. 18 (2).

学外活動

- 富山国際大学附属高等学校 SELHi 運営指導委員会 委員
- 富山国際大学附属高等学校 1-1 (International Course) class English Camp: 3 days of

Lessons

- 富山国際大学附属高等学校“International Understanding” lecture: “Introduction to Africa”
- 富山国際学園 中学校 Speech Contest: Judge
- 桜井高等学校 : 3 x 50 分 lectures: “Short Introduction to Africa”
- 福岡高等学校 (富山県) English Seminar lesson: “Summertime Things Japanese”

その他

- 富山国際大学国際交流委員会センター 委員
- 富山国際大学平成23年度入学試験問題作成委員会 委員
- 富山国際大学専任教員 (英語) 選考委員会 委員

教授：高橋 哲郎

【論文】

- ・「韓国中小製造企業の現状－首都圏企業ヒアリングを中心として－」(共著)、『韓国経済の現代的課題』所収論文、日本評論社、2010年3月

【学外活動】

- ・富山地方最低賃金審議会委員 (公益代表委員)
- ・富山地方最低賃金審議会 富山県電子部品・デバイス・電子回路・電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金専門部会 部会長
- ・富山地方最低賃金審議会 富山県自動車 (新車) 小売業最低賃金専門部会 部会長
- ・富山地方労働審議会 家内労働部会 公益代表委員
- ・財団法人環日本海経済研究所共同研究員

【その他】

- 富山国際大学ビジネスマン・イブニングセミナー、コーディネーター 2010年度
- 高校出講プログラム、講師
 - 「もし経営情報で学んだら」富山国際大学附属高校 (3月9日)
 - 「韓国語と韓国事情」富山県立小杉高校 (7月29日)
- 外部組織との共同研究
 - 研究テーマ: 韓国経済のシステム分析
 - 共同機関: (財)環日本海経済研究所 韓国経済システム研究会

教授 高橋 光幸

【著書・論文】

- 1) 「合併した市町村における観光の現状と課題」 富山国際大学現代社会学部紀要、第3 卷、2011 年3 月

【学外活動】

○研究会・講演会・出講プログラム等講師

- 1) 「観光・交流による地域活性化の新しい発想と方法」、黒部川扇状地研究所平成 22 年度春季講演会、2010 年5 月29 日
- 2) 「これからの新しい観光を考える」 富山国際大学附属高等学校、2010 年7 月8 日
- 3) 「富山県における観光の現状と課題」 遼寧師範大学歴史文化旅遊学院（中国大連市）2010 年9 月16 日
- 4) HIMI 学講座「氷見の良さをどう発見し活用するか？」 富山県立氷見高等学校、2010 年9 月29 日
- 5) 「屋敷林の再発見とその保全・創造」 パネルディスカッション・パネラー、2010 年全国屋敷林フォーラム in 砺波平野、2010 年10 月23 日
- 6) (独) 国際協力機構 (JICA) 平成 22 年度国別研修「仏語圏アフリカ持続可能な観光開発」コース、2011 年2 月18 日～3 月9 日

○学会活動

- 1) 総合観光学会理事
- 2) 総合観光学会、日本観光研究学会、日本地域政策学会、文化経済学会<日本>会員
- 3) 学会査読委員

教授 長尾治明

【機関誌】

- 時評「訪日外国人旅行者の誘致について」 日経研月報 2010.11

【講演・研修会】

- 富山経済同友会「観光推進と地域活性化」 インテックビル 16 階富山県経済同友会事務局内会議室 平成 22 年2 月4 日(木)
- せり人研修会「卸売流通市場の現状と今後の課題」平成 22 年2 月23 日(火) 富山市農林水産部中央卸売市場業務監理課業務係
- 経済産業省・財団法人日本立地センター「現代のものづくりの発祥」 愛知県産業労働センター ウィンクあいち 平成 22 年3 月10 日(水)
- 「第6 回とやま産業観光フォーラム」 パネルディスカッション「とやま産業観光を体験型・学

び型交流として活用するには」コーディネーター 平成 22 年 3 月 20 日(土)

○新入社員研修「最近の経済状況」「企業における営業活動」富山地域職業訓練センター 平成 22 年 3 月 30 日、4 月 6 日

○射水市港湾商工課「港湾を活用し観光交流による地域経済活性化の考え方」平成 22 年 6 月 1 日(火)

○富山警察学校 経済問題分野「富山の経済」平成 22 年 7 月 7 日(水)、7 月 12 日(月)

○高大連携授業・小杉高校「流通の仕組みはどうなっているの」平成 22 年 7 月 31 日(土)

○北東アジア交流海道 2000 キロ実行委員会「北東アジア交流プロジェクト富山シンポジウム」平成 22 年 9 月 28 日(火)

○富山警察学校 「観光交流による地域活性化」平成 22 年 11 月 9 日(火)

○富山県公衆浴場業生活衛生同業組合「現代社会における銭湯のあり方を考える～現代そして未来への提言～」パネルディスカッション「銭湯だからできること」コーディネーター 平成 22 年 10 月 19 日 (火) 富山第一ホテル

○関西大学校友会富山県支部「観光交流による地域活性化」 JR 高岡駅前デュオビル 4 階 平成 22 年 11 月 7 日(日)

○「広域的なおもてなし観光ガイドとは」越中・飛騨観光圏協議会・飛越ニューツーリズム推進協議会

高岡商工ビル 802・803 号室 平成 22 年 11 月 30 日(火)

【審議会・委員会】

中部経済産業局 国土交通省北陸整備局富山河川国道事務所 北陸経済連合会 財団法人北陸産業活性化センター 富山県経営管理部財政課 富山県商工労働部商工企画課 財団法人北陸経済研究所 富山県商工労働部商業まちづくり課 富山県厚生部くすり政策課 富山県都市計画課業務係 富山県農林水産部農業技術課 富山県農産食品課食のブランド推進班 富山労働局 独立行政法人雇用・能力開発機構富山センター 財団法人富山県新世紀産業機構 財団法人富山県市町村振興協会 富山県中小企業団体中央会 富山市中央卸売市場 富山市企画管理部 南砺市総務部総務課行革推進係 小矢部市企画政策課 黒部市総務企画部財政課 滑川市生活環境課 高岡商工会議所企画事業部 株式会社まちづくりとやま 社会福祉法人富山県社会福祉協議会福祉サービス支援課 社団法人シルバー人材センター連合会 社団法人富山県食品産業協会 株式会社富山総合情報センター チューリップテレビ・地域経営プロジェクト 富山県公衆浴場業生活衛生同業組合

【職歴】

とやま産業観光推進協議会副会長 財団法人地域振興研究所評議員 社団法人流通問題研究協会理事

社団法人富山県食品産業協会理事 コラボ産学官富山支部理事 北陸大学野球連盟理事長 富山国際学園理事・評議員 富山国際学園サテライト・オフィス「地域交流センター」長 富山国際大学総務企画部長 富山国際大学硬式野球部部长 富山短期大学経営情報学科非常勤講師

教授 成澤 義親

【著書・論文】

1) 「富山県の宿泊業界の『サービス』提供について」(共著)

富山国際大学現代社会学部観光専攻『社会経済の変化に対応した富山県観光の方向性に関する研究』(平成21年度財団法人富山県高等教育振興財団私立大学振興事業(研究活性化支援事業)助成金報告書) P.25-30

2) 特別報告「日韓大学生フィールドトリップ2009」

日本観光ホスピタリティ教育学会『観光ホスピタリティ教育』第4号

【研究発表】

1) 演題「外国資本開発の光と影～北海道ニセコ・リゾートの事例～」

「日本地域政策学会」(桜美林大学)、2010年8月7日

【学外活動】

○国際交流訪問

- 1) 遼寧師範大学(中国・大連市)との学術交流に向けての協議と交流講義のため、訪問団(4名)の一員として大連市を訪問した。2010年9月15～18日
- 2) 上記1)の滞在中に、黒竜江省鶴崗氏にある鶴崗高等師範大学の校長等と面談し、来年度以降の学術交流を進める交渉を行い、更に具体的に交渉を進めることとなった。
- 3) 天津社会科学院-天津国際言語文化進修学院(天津市)において、来年度自費留学生候補者の入学試験を実施した。また、中国海洋大学(青島市)、大連海洋大学(大連市)、大連半島外国語学校(大連市)の各大学・語学校を表敬訪問の上、学長・学部長等と懇談、今後の学術交流(学生の交換留学や共同研究等)の継続・発展を確認しあった。

○高校出講プログラム等

- 1) 金沢商業高校、2010年5月25日、
 - ①「世界の観光史：入門編～観光を通して世界に触れる」
 - ②「大学で観光を学ぶことと、観光産業に就職すること」
- 2) 富山県立小杉高等学校高大連携講座、2010年7月30日
「北海道ニセコに何故、オーストラリア人がやって来るようになったのか、知っていますか？」

○講演・講座

- 1) 本学主催公開講座「タイ語会話とタイ文化の入門講座」2010年4月17日
『タイの観光とグルメ事情』
- 2) 富山市民大学「実年ライフの知恵」シリーズ第2回、2010年5月26日(聴衆87名)
「世界の観光史～これまでの歴史と今後の楽しみ方～」年8月25日

- 3) 富山市民大学「世界の国々」シリーズ第3回、2010年6月4日(聴衆135名)
「タイ国観光事情と現地での楽しみ方」
- 4) 富山県大学連携協議会主催の公開講座「環日本海の中の富山」
「アジアの航空事情とLCC(低コスト航空会社)の動向」

○学外委員

- 1) 日豪ツーリズム学会(副会長)
総合観光学会(常任理事)

【学内】

- 1) 国際交流センター長
- 2) 自己点検評価委員会委員
- 3) (現代社会学部) 運営委員会委員
- 4) (現代社会学部) 改革実現委員会委員
- 5) 観光研究の学生サークル(Explanet)顧問

教授 浜松 誠二

【著書・論文等】

◎富山第一銀行奨学財団助成研究

○「ポータルによる街の賑わいの変化—時間がかかる街の活性化—」 Sep.2010

◎以下は、『富山を考えるヒント』(Web-Site)に掲載。

○脆弱化する世帯、Jan.02,2010.

○下げ止まる乗車人員数、Feb.08,2010.

○減少する給与ベース、Feb.14,2010.

○製造業への特化が著しい富山県の生産構造、Feb.21,2010.

○富山の健康度は中程度、Feb.21,2010.

○コンヴィヴィアルな地域社会を求めて、Feb.26,2010.Rev.

○大規模企業中高年者の賃金の低下、Feb.28,2010.

○構造的変動を背景とした地価の下落、Mar.20,2010.

○外国人減少への転換、Apr.03,2010.

○依然として旺盛な新規宅地需要、May.04,2010.

○住宅建設の激減、May.04,2010.

○ポスト京都議定書 CO2 排出量調整案、May.26,2010.

○都市の賑わいを形成しない小売業、Jun.03,2010.

○労働力人口比率と失業率に逆相関、Jun.08,2010.

○市街化調整区域設定に伴う土地利用計画の失敗、Jun.21,2010.

○情報通信システムの活用能力に劣る富山県の学校、Jul.25,2010.

○「空間的ゆとり・経済的ゆとり」が耐久消費財普及率の主因子、Aug.03,2010.

○カロリーで 3/4、生産額で 2/3、Sep.06,2010.

○モノづくり県富山、Sep.07,2010.

○北陸の地価低下は供給要因も作用、Sep.24,2010.

○最も急速な富山の道路の拡張、Oct.18,2010.

○著しく多い集落営農数、Dec.15,2010.

○拡大する所得格差、Dec.28,2010.

【学外活動】

○マスコミへのコメント

地価問題(北日新聞)、高校生クイズ(TBS、アドバイス)、
住宅の競売(北日本放送)、首長の給与カット(北日本新聞)、
富山の食生活(富山テレビ)、小学校統合(北日本新聞)、
富山の住宅(読売新聞)

○富山労働局地域事業等企画書評価委員会委員長

○富山商工会議所講演 「富山の土地問題」

教授 増田 功

【著書・論文等】

- 1) キャリア支援授業データ収集システムの導入 富山国際大学現代社会学部紀要 投稿中

【学会活動（研修会・講演・委員会委員等）】

- 1) 電子情報通信学会 パターン認識・メディア理解研究会 研究専門委員会顧問

【その他（部活動等）】

- 1) 大門高等学校 高大連携実習 『『カシミール』で山を描こう』
2) 映像メディア研究会 顧問

教授 村瀬 直幸

【論文】

- 「バブルと金融および技術進歩」、富山国際大学現代社会学部紀要、第2 卷、2010 年3 月
「中小企業の生き残りのための経営戦略」、長尾治朗教授、高橋哲郎教授との共著、富山県高等教育振興財団助成事業報告書、2011 年3 月予定

【学外】

1. 高校での進路ガイダンスおよび課外授業講師
1) 「企業の社会的責任について」高岡商業高校 5月6日
2) 「企業は社会の中での役割」小杉高校 7月30日
2. 富山国際大学ビジネスマン・イブニングセミナーコーディネーター
11月～12月 計5回

准教授 後藤 智

【著書】

『アクチュアル地方自治法』〔共著〕（法律文化社、2010.4）

【口頭発表・講演等】

〔講演・研究発表〕 『『地域主権改革』と地方自治のあり方』第 52 回自治体学校（in 福井）
（2010.8.1）

〔口頭発表〕 富山県自治体問題研究所市町村合併研究会「市町村合併と地域審議会―住民自治
の観点から―」（2010.2.26）

〔講演〕 「裁判員制度施行 1 年～その意義と問題点～」国際教養学部公開講座（県民カレッジ
連携講座）・サテライト市民講座（2010.4.24）

〔随想〕 「普天間基地問題と地方自治」文集『わたしと日本国憲法』をつくる会『わたしと日
本国憲法 第 11 集』（2010.11.3）

【学会活動・社会活動等】

富山県自治体問題研究所理事長

日本科学者協会富山支部幹事

富山県インターンシップ推進協議会運営委員会副委員長

富山労働局・若年者地域連携事業に関する企画審査委員会委員長（2010年3月）

准教授 斎藤 敏子

【論文等】

1. 「空港サービスの顧客満足について」富山国際大学現代社会学部紀要、第2巻(2010年3月) 135-145
2. 「富山県の宿泊業界の『サービス』提供について」『社会経済環境の変化に対応した富山県観光の方向性に関する研究』所収 富山県高等教育振興財団私立大学振興事業助成金報告書(2010年3月) 25-30 共著(成澤義親・斎藤敏子)
3. 「観光ボランティアガイド活動の実態およびその動向に関する研究」日本観光研究学会 第25回全国大会学術論文集 (2010年12月) 105-108

【学会・研究報告】

1. 「観光ボランティアガイド活動の実態およびその動向に関する研究」日本観光研究学会第25回全国大会報告(2010年12月5日)
2. 「うるわしの国への観光振興による地域活性への提言Ⅱー奈良のホスピタリティ・マインドについて」、立教大学大学院地域活性研究部会(2010年12月27日)

【学外活動】

1. 出講プログラム等講師
 - ① 「おもてなしからみた富山県の観光」富山県立雄山高等学校(2010年6月23日)
 - ② 「感動を生む『サービス』とは」高大連携講座 小杉高等学校「異文化理解講座」(2010年7月28日)
 - ③ 「ホスピタリティは大切な観光資源」オープンキャンパスⅡ体験授業(2010年8月21日)
 - ④ 「市民から信頼される窓口対応とコミュニケーション」富山南警察署(2010年8月26日)
 - ⑤ 「観光を支えるサービスの重要性についてーディズニールゾートのサービスを例としてー」富山県立いずみ高等学校(2010年12月10日)
2. 講演会・研究会等講師
 - ① 「観光ボランティアガイド活動の現状について」神奈川県民センター(2010年8月14日)
 - ② 「サービス業における戦略策定について」神奈川 SC 研究会(2009年8月15日)

【その他】

- ① 国土交通省地域政策局観光地域づくり人材育成支援メンバー
- ② 富山県観光・地域振興局観光課 「観光カレッジ(仮称)」検討委員
- ③ 富山国際大学現代社会学部観光専攻公開シンポジウム「富山の観光と観光資源を考える～地域資源の保全と活用による富山観光の振興～」司会担当(2010年2月13日)
- ④ 富山県観光・地域振興局観光課「とやまスイーツ研究会」認定審査員

准教授 佐藤 悦夫

●論文・著書等

- ①「富山県五箇山地域の観光客動向に関する一考察：2009 年調査を中心に」
『富山国際大学 現代社会学部紀要』 第2 巻 PP.147-178 (2010 年3 月) (単著)
- ②「観光資源の保全と活用をめぐる諸問題」『富山国際大学現代社会学部観光専攻 公開シンポジウム 富山県の観光と資源を考える～地域資源の保全と活用による富山観光の振興』(2010 年3 月) (単著)
- ③『社会経済環境の変化に対応した富山県観光の方向性に関する研究』(2010 年3 月) (共著)

●講演等

- ①「世界遺産 五箇山を持続発展させるためには」富山県立南砺総合平高校創校記念日特別講演 (南砺総合平高校、2010 年6 月)
- ②「ラテンアメリカと日本」富山県立小杉高等学校高大連携講座 (富山国際大学、2010 年7 月)
- ③「メキシコ、テオティワカン遺跡の考古学調査」高岡市生涯学習センター連携講座 (高岡市生涯学習センター、2010 年7 月)
- ④「世界遺産 メキシコのテオティワカン遺跡について」遼寧師範大学リレー講座 (遼寧師範大学、2010 年9 月)
- ⑤「世界遺産 テオティワカン遺跡を掘る (全3 回)」富山国際大学エクステンションプログラム (CIC、2010 年10 月)
- ⑥「富山国際大学の FD・SD の現状と改革について」文部科学省戦略的大学連携支援事業関連シンポジウム (富山大学、2010 年12 月)

●フィールドワーク等

- ①メキシコ、テオティワカン「月のピラミッド」考古学調査 (2010 年9 月)
- ②遼寧師範大学出張 (2010 年9 月)
- ②五箇山観光調査 (2010 年11 月)

●その他

古代アメリカ学会 会誌編集委員長 (2004 年～2010 年)

准教授 助重 雄久

【著書、論文】

- 1) 高速交通網の整備と飛越観光の課題－募集型企画旅行に関する考察を中心として－、大塚昌利編著『地域の諸相－地域が人を育て 人が地域を創る－』古今書院、139-150.
- 2) 北陸(第8章 日本の諸地域 第5節)、経済地理学会編『経済地理学の成果と課題 第VII集』日本経済評論社、245-250.
- 3) 高知県四万十町十和地区－『おかみさん市』のおもてなしへの取り組み. 富山国際大学現代社会学部観光専攻『社会経済の変化に対応した富山県観光の方向性に関する研究』(平成21年度財団法人富山県高等教育振興財団私立大学振興事業(研究活性化支援事業)助成金報告書)、12-20.
- 4) 宮古島における小規模宿泊施設の急増と多様化、平岡昭利編著『離島研究IV』海青社、125-140.

【学会・シンポジウム発表】

- 1) 観光客にわかりやすい案内地図とは?(ポスター発表)、2010年度(第65回)立正地理学会研究発表大会、2010年6月5日

【受託研究】

- 1) 高岡市二上山総合調査研究会(高岡市教育委員会生涯学習課所管)、二上山麓における土地利用変化に関する調査、2010年度

【講演・公開講座】

- 1) 富山国際大学現代社会学部・高岡市生涯学習センター連携講座「地図で読み解く地域の変遷－富山県西部を中心に」、2010年9月25日、高岡市生涯学習センター研修室

【高等学校生への教育活動】

- 1) 「富山を知ろう」Part1～黒部川扇状地の水環境と観光～、富山国際大学現代社会学部・日本黒部学会共催(2010年8月19日)
- 2) 大門高等学校・富山国際大学現代社会学部高大連携実習「コンピュータを使って富山を考えよう」、2010年8月9～10日)

【学外活動】

○各種委員

- 1) 日本地理学会代議員(2010年4月～現在)
- 2) 日本地理教育学会評議員(2007年4月～現在)
- 3) 立正地理学会評議員(2002年4月～現在)
- 4) 富山地学会幹事(2000年5月～現在)
- 5) 富山県加工業務用野菜等供給拡大推進協議会委員(2010年6月～現在)
- 6) 岐阜県立益田清風高等学校「飛び出せスーパー専門高校生推進事業」運営推進委員(2010年6月～現在)

准教授 高尾 哲康

【著書・論文】

1. 「テキスト処理における WebAPI の利用」、富山国際大学現代社会学部紀要、Vol.2, 2010
2. 「要約筆記の品質評価の試み」、情報処理学会 72 回全国大会、5G-3、2010
3. 「要約筆記の品質評価システム」、情報科学技術フォーラム FIT2010、7D-7, 2010
4. 「要約筆記品質評価システム」、富山国際大学現代社会学部紀要、Vol.3, 2011

【学外活動（研修会・講演、委員会委員等）】

1. 情報処理学会北陸支部評議員
2. 電気関係学会北陸支部連合大会実行委員
3. 戦略的大学連携事業推進委員会 SRMプロジェクト推進委員会委員
4. (株) ニューメディア編集協力員
5. 大門高校・富山国際大学 高大連携実習:「コンピュータを使って富山を考えよう」、実習 3「統計から富山を考えよう」、「Excel を用いたグラフの作り方」
6. 情報センターセンター員、アカデミックアドバイザー

准教授 湯 麗敏

【論文・著書】

- ・「留学生に対する教養教育と指導の試み」富山国際大学現代社会学部紀要、
第2巻、2010年3月
- ・「外国人留学生ガイドブック中国語版」作成 富山国際大学交流センター 2010年3月

【研究活動】

- ・中国語のテキスト作成 (白帝社) 分担
- ・中国大学との学術交流のための通訳と翻訳

【学外活動】

1. 学会 「日本中国語学会全国大会」、神奈川大学、2010年11月20～21日
2. 富山・中国ネットワーク学習会指導、2010年10月31日
3. 富山市民国際交流協会教養講座講師担当、2010年度 全10回
4. 富山市民向けの公開集中講義「中国語の基礎」2010年3月6日
5. NPO 法人高岡鳩の会「第18回日本対中国歌謡大会」審査員 2010年3月28日
6. 富山「ひまわり会」の勉強会指導 2010年度 全8回
7. 海外における留学生募集の活動及び選抜仕事、留学生の父母との懇談会
8. 学生を引率して中国での異文化研修
9. 留学生を引率して学外での日本文化への体験

【その他】

学内： 国際交流委員会委員
キャリア支援委員会委員
国際交流シンポジウム実行委員
中国サークル顧問
高校出講プログラム小杉高校異文化教養講座担当
教養演習 I・II の AA 担当

准教授 横井 敏秀

【研究活動】

○ 論文 (項目執筆)

「社会的事実」日本社会学会社会学事典刊行委員会『社会学事典』所収 (2010年6月)

【学外活動】

○ 講演等

「ウソから出たマコトの社会学～『予言の自己成就現象』とは～」(CiC サテライト市民講座、2010年5月)

講師 小西 英行

【著書・論文】

● 報告書

1. 平成21年度「中山間地の活性化策を用いた課題解決手法の調査研究」中間報告書、2010年3月

【学外活動】

● 共同研究

1. 平成22年度「中山間地の活性化策を用いた課題解決手法の調査研究 (共同研究者)」、社団法人 北陸建設弘済会 北陸地域づくり研究所

● 学会

1. 「日本商業学会全国大会」、東洋大学、2010年5月27日～29日

● 非常勤講師

1. 消費者行動論、星稜女子短期大学、2010年4月～2010年9月
2. マーケティング・コミュニケーション論、星稜女子短期大学、2010年10月～2011年3月

● プロジェクト顧問

1. 富山商工会議所若手後継者等育成事業「第5回 学店」顧問

【学内活動】

● 部活動・サークル顧問

1. サッカー部
2. ビジネス資格研究会 (B-KEN)
3. 図書サークル (BOOKCLUB)